

令和元年度事業報告

新元号令和の今年度は国内外ともに、予測を超える局面での変動が多発し、従来の認識ではその振り幅の大きさに、的確な理解・対応に戸惑う程であった。

また、新型コロナウイルスの感染拡大は地球規模にまで及ぶところとなり、人的被害や経済的損失が計り知れないほどの状況となっている。

富谷市の動向としては、産業交流プラザを起点とした地域活性化の諸施策が打ち出され、富谷宿開宿 400 年のイベントと併せ、富谷宿観光交流ステーション「(愛称)とみやど」新規オープンに伴う各種企画で、歴史的・文化的資源を活用し、交流人口を増やし魅力ある街を発信しようとする動きが始動し、この地域創生事業に取り組む市の姿勢に共鳴し、公益法人である我々の出番・社会参加・就業機会の増大に期待し、各部門重点的に取り組んだ。

しかしながら前述の自然変動や、経済界の情勢に対応しきれない部分もあり、請負事業の伸び悩み、派遣事業の契約折衝等の時間的工数負荷、社会の働き方改革・勤務労務体系の変化による、定年延長や再雇用制度のため適格入会対象者の予想外の不振や、退会希望者への抑止策も有効打とならず、会員拡大も苦戦となった。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策の影響で一部受注が減少したものの、総じて受託事業も、派遣事業も前年実績レベルの推移となったが、市当局の取組みの諸施策の中で、子育て支援・しんまち活性化プロジェクト・開宿記念イベント・新観光センター・地域創生事業の富谷茶復活・空き家対策等と併せ、従来の独自事業の更なる量の拡大をはかり、加えて高齢化社会のキーワードである介護支援・独居老人宅へのワンコインサービス・荒廃地の環境保全・等々我々の理念として掲げる精神を発揮して、地域社会に貢献、現役世代の下支え・労働力確保・会員の生きがい、健康増進・社会参加・孤立高齢者の抑止等、我々の取り組むテーマ・出番はいっぱい埋蔵され、それは就業となり、地域から評価信頼され配分金として還元されます。

これは言い換えれば、大きな可能性を秘めた市場環境とも取れます。

しかしこの状態を有効に活用するためには、確実に年輪を重ねる会員の後継者である新規会員の補充と、就業機会の開拓が不可欠であることは理の当然です。

以上の観点から現況をよく認識され、事業運営の推進に会員各位のそれぞれのポジションでの頑張りを切望します。

以下、令和元年度の事業実施状況を報告いたします。

○令和元年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達成率
正 会 員	510 人	477 人	93.5%
特別会員	1 人	1 人	100%
賛助会員	17 人	11 人	64.7%
受注件数	1,800 件	1,696 件 (内派遣 81 件)	94.2%
受注契約金額	270,000 千円	262,634 千円	97.3%
(受託事業)	(150,000 千円)	(143,730 千円)	(95.8%)
(労働者派遣事業)	(120,000 千円)	(118,904 千円)	(99.1%)
就業延人員	55,000 人日	51,111 人日	92.9%
就 業 率	93%	97.9%	104.7%
粗 入 会 率	3.70%	3.48%	94.1%

1. 就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、お客様、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

- (1)チラシの配布（富谷市一部地域）
- (2)就業機会開発員・理事・会員・職員による就業機会の開拓
（事業所訪問、一般家庭訪問、会員の口コミ等）

2. 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施し、また独自事業「ギャラリーなごみ」を運営し、しんまち通りの活性化に貢献するとともに女性会員の就業の場を創出した。

- (1)普及啓発月間における活動
- (2)チラシ配布
- (3)会報の発行（富谷市全域毎戸1回）
- (4)ホームページリニューアルによるタイムリーな情報公開
- (5)広報紙、新聞等に会員募集を掲載
- (6)市の公民館まつり等への参加・協力
- (7)「ギャラリーなごみ」の新聞、雑誌への掲載、テレビ等での放映

3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス（マナー）内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会開拓の方策を実施するために行っており、以下のことを実施した。

- (1)お客様満足度調査の実施（個人発注者及び企業に対するアンケート調査）
- (2)役員視察研修の実施（地域就業機会創出事業関連）

4. 相談事業

一般高齢者及び会員、育児支援利用者を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- (1)入会説明会 毎月1回開催、そのほかに出張入会説明会の開催
- (2)就業相談 随時
- (3)育児支援相談 随時
- (4)家事支援相談 随時
- (5)会員対象に面談を実施 随時

5. 安全・適正就業の推進

仕事の品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場

において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

- (1)毎月安全・適正就業委員会の開催
- (2)安全パトロールの実施(年間 11 回実施)
- (3)各種安全講習会の実施
- (4)安全就業推進計画の遂行
- (5)安全・適正就業推進大会の実施
- (6)安全標語の募集及び表彰
- (7)適正就業の普及推進(派遣事業の拡大強化)

6. 会員増強の促進

事業計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

- (1)入会説明会の実施(毎月 1 回)・出張入会説明会の開催
- (2)市広報紙・新聞への会員募集の記載
- (3)会員募集チラシ配布 (富谷市一部地域)

7. 独自事業

当センターの特徴的な事業として、書道教室の運営や小物製作販売「ギャラリーなごみ」の運営をおこなっている。これらの事業は、地域の方々にご利用いただき、地域活性化及び交流の場の提供として貢献した。

(1)書道教室

毎月 2 回、大人の部と子供の部を開催し各教室 10 名の生徒で行った。

(2)小物製作販売「ギャラリーなごみ」

ア. 市の広報や新聞、テレビ放映等の広報効果により、来客数や他センターからの視察も増え、女性の就業拡大に繋がった。

イ. 昨年 10 月に全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)金子会長が来訪され、「ギャラリーなごみ」と併せて子育てサロン「ほっと育く」も見学され、ご自身が教授をお務めになる大正大学の研究活動の一環としてご執筆になった著書「80 歳を超えても生きがい就労で社会参加」のモデル事例に取り上げて頂いた。

ウ. 全シ協のマスコットキャラクター「チエブクロー」の使用承認第 1 号を得て「チエブクロー布袋」の製作販売を行った。

8. 福祉・家事援助サービスの推進

市が推進する子育て事業の託児業務や、高齢者世帯の増加が進む中で、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進を図った。

(1)育児支援サービス

ア. 子育てサロン「ほっと育く」の継続運営

イ. 子供の一時預かり

ウ. 親子で楽しむリトミック教室の実施 (外部講師)

(2)家事援助サービス

ア. 高齢者及び子育て世代への家事援助

(3)ワンコインサービス

ア. 富谷市民生委員児童委員との意見交換会開催

イ. 富谷市地域包括支援センターとの連携で就業拡大

9. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

(1)子供達の安全・安心を守る巡回活動

(2)「市公民館まつり」への参加協力

(3)「シルバーの日」の公民館等の清掃作業等の実施（台風19号の影響により中止）

10. 地域就業機会創出・拡大事業の取組

事業3年目にあたり、5月既存の茶畑にて初茶摘み式を実施し、市民の方も参加、製茶も体験していただいた。10月の街道まつりでは多くの市民の方々に富谷茶を振る舞った。

11月には市民の方を対象においしいお茶の入れ方講座を実施し、富谷茶の歴史も学んでいただいた。2月には寒茶作りを行い、番茶を試飲した。

実施内容についてはチラシを作成し、町内会を通じて全戸配布の実施。

11. 事業運営の効率化及び健全財政の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう健全な財政運営に取り組んだ。

(1)不要支出の洗い出し

(2)消費節約の励行

(3)会計基準の変更による、内部監査の実施

(4)コンビニ収納の開始

(5)ホームページのリニューアル